

同窓会報

第 27 号

平成22年7月20日

発行 泉松陵同窓会
宮城県高等学校
〒022-373-4125

印刷 印刷出版(株)
創文印刷出版(株)
〒022-222-0181



泉松陵30回生を迎えて

校長 石崎 哲朗

同窓会の皆様方におかれましては、ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

また、平素から小野会長を始め同窓会員の皆様方には、母校の教育活動にご理解を賜り、温かいご支援とご激励をいただいておりますことに對しまして、心から感謝を申し上げます。今年度は、四月の半ばに大雪が降ったり、五月になっても不安定な天気が続くなど、例年に見られるような美しい季節の移り変わりがはつきりしないまま梅雨の季節を迎えてしまいました。松陵生諸君は、雨ニモマケズ・・・の精神で、学習や部活動に元気に充実した学校生活を過ごしております。

ご案内のように、県総体では女子弓道部が団体で見事優勝して、沖縄県で開催されるインターハイ出場を果たしました。まれに見る激戦を制しての優勝は、松陵生の真の底力を発揮してくれた結果でした。全国大会でもさらに本領を発揮して松陵旋風を巻き起こして欲しいと、全校挙げて健闘を祈っております。

さて、今年度は本校第30回生の新入生を迎えました。本校の歴史の大きな節目として心を新たに新年



「卒業して」

同窓会長 13回生 小野 裕介

毎年八月の第二土曜日に同窓会総会が行われています。今年は八月七日(土)の仙台七夕の開催時期ですが、泉松陵高校同窓会はホテル白萩で例年通り開催致します。参加して頂いた方々からは大変好評で、大いに賑わいますので、多くの方々の参加を楽しみにしております。

昨年の総会、懇親会はとも賑わいましたが、しかし、私の目から見て出席された人数は、決して多くはありませんでした。参加人数だけを見ると少し寂しい感じも致しました。泉松陵高校は、現在、同窓生の数が約八千名、この数字をみるとかなり人数ですが、同窓会への参加者は

度をスタートしたところで。来年度の本校創立三十周年記念式典に向けて実行委員会を中心に準備が進められておりますが、本校も新しい出発点として、先輩諸兄の築かれた伝統を継承しつつ、「部活動の活発な進学校」としての松陵高校の姿を確かなものとして伝統校としての歩みを邁進していきたいと考えております。

結びに、同窓会の皆様方のご健勝と本校同窓会のますますの発展を心よりご祈念申し上げますとともに、今後とも母校へのご支援、ご協力を切にお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

あまり多くないという現状です。役員会では毎回、この同窓会総会・懇親会への参加人数が増えるために、どのような方法があるのか議論しています。その中で、数年前の同窓会では、恩師の先生方を大勢招いて開催しました。その年の同窓会は多くの方々に出席していただき、大変盛況な会になりました。出席して頂いた恩師の先生方にも来てよかったと言って頂けました。

同窓生の皆さんの話を聞くと、友人達と会う機会があっても、当時の恩師に会う機会はありません。そのような意見が聞かれ、なかなか実現できないような、恩師の先生方が大勢参加する、という企画があったため出席者が多かったのだと感じました。そこで役員会では、今年の同窓会は、すでに松陵高校HPに掲載され、ご覧になった方もいるかと思いますが、第6回生(S.45、46生まれ)・第16回生(S.55、56生まれ)・第26回生(H.2、3生まれ)を担当された先生方に参加を呼びかける予定です。卒業してしまうと先生方と会う機会はありません。是非この機会に出席して頂けることを期待しております。もちろんこれは第6・16・26回生の方だけに出席してほしいということではなく、卒業年度に関わらず、すべての年代

勢参加する、という企画があったため出席者が多かったのだと感じました。そこで役員会では、今年の同窓会は、すでに松陵高校HPに掲載され、ご覧になった方もいるかと思いますが、第6回生(S.45、46生まれ)・第16回生(S.55、56生まれ)・第26回生(H.2、3生まれ)を担当された先生方に参加を呼びかける予定です。卒業してしまうと先生方と会う機会はありません。是非この機会に出席して頂けることを期待しております。もちろんこれは第6・16・26回生の方だけに出席してほしいということではなく、卒業年度に関わらず、すべての年代

の同窓生に参加していただきたいと思えます。私自身、高校を卒業して10年以上が過ぎ、毎日の仕事や家庭に追われ、高校時代の友人達ともなかなか会うことができません。しかし、しばらく合っていないくても人生の中で同じ三年間を過ごした友人達に会うと、当時の思い出が蘇り、会わなかった時間がなかったかのようにとても楽しい時間を過ごすことが出来ます。是非この会報を読んだ皆様も八月七日にホテル白萩で、高校時代を懐かしみ、恩師を交えながら思い出話に浸っていただきたいと思えます。大勢の参加お待ちしております。

平成22年度 宮城県泉松陵高等学校同窓会 総会・懇親会ご案内

日時 平成22年8月7日(土)
受付 16:30 ~17:00
総会 17:00~
懇親会 17:30~
会場 ホテル白萩
〒022-265-3411
会費 3,000円



会場案内図

※ 同封のはがきに出欠の有無等を記入していただき、50円切手貼付の上7月29日(木)必着にてご返送ください。高校時代の思い出や将来について語り合しましょう。お誘いあわせの上、多数ご参加くださるようご案内申し上げます。

泉松陵風信録

今年で我々応援団OB会も結成10年目を迎えました。今年、卒業生の同窓会入会式でのエール、今回の同窓会報への寄稿等、先生方や同窓会役員の方々のご尽力により、我々の願いであった母校との結び付きを深めたいという想いに一歩近づいた気が致します。改めて御礼申し上げます。さて今回はテーマを二つに致しました。一つは我々が現役の頃、どの様な活動をしてきたか、二つ目は母校三十周年を迎えるにあたり我々応援団OB会が進めている記念事業についてです。是非一読頂ければと存じます。今年の同窓会で多くの恩師の先生方、同窓生の皆様にお会いし、楽しい一時を過ごしたいと今から楽しみにしております。

泉松陵高校応援団OB会
緑松会会長

水戸 克明

「懐かしい高校時代」

平成元年卒業(第6回生)

本間 純一

朝七時三十分。太鼓の一拍子と共に団旗を掲揚し、朝靄の中でエールや応援歌の練習をする。それが我々応援団の日課でした。

最初は辛かったこの朝練も、次第に県民の森からのこだまが清々しく思えました。

諸先輩方のご尽力で、我々が入学した昭和六十一年に泉三校定期戦が始まりました。当時の我々一年生は今何が起きているのかも判らず、ただただ先輩方の指示に従うのに必死

だったものです。三年生の時には、定期戦も更に発展させるべく、パレードを企画しました。

ある日、クラスの友人に何故年中練習するのかと、問われた事がありました。冬場など運動部の公式戦が無い時期に応援団が練習しても意味が無いだろうと言うのです。この問いに対して私は「運動部は年中練習してるだろう。だからやるんだ。」と答えました。

我々応援団は、共に学ぶ学友を常に応援する。それが使命と考えていました。

ですから、定期戦や高校総体などの運動部への応援に留まること無く、吹奏楽部の定期演奏会や松陵祭などの文化部の行事や、卒業式や離任式等の学校行事すべてを応援活動の一環と捉え、考え得る全ての事をやっていました。

私にとって、応援団幹部として「自律・啓発 友愛・協調 堅忍・不撓」の校訓の実践を念頭に陰日向無く活動してきた三年間は、今でも人生の糧として深く刻まれています。そして、この様な貴重な経験を得られたのも、ご指導を賜った先生方や諸先輩方のお陰だと感謝しています。

早いもので、気が付けば我々6回生は母校を卒業し二十二年が過ぎようとしています。

そして来年には、母校は開校三十周年を迎えます。先の二十五周年の際には、応援団同窓

会から、横断幕と手拭いを記念品として寄贈させていただきましたが、また何か我々から「エール」を贈ればと考えています。

「原点回帰」 松陵生としての誇り、 思い届け！(案)

デザイン担当(第4回生)

佐々木貴弘

高校時代に松陵応援団の羽織袴のデザインをさせて頂き、あれからはや二十数年の時を経ました。この度、母校の創立三十周年を迎えるにあたり、緑松会が進めている記念事業にて、再び母校応援団に関する備品のデザインをさせて頂くこととなりました。今回の記念品となる法被(はっぴ)・手旗は、「スクールカラーの緑」を基調とし、色の持つ意味に強くこだわりました。この制作を機に「同窓生も原点に立ち返ろう」という声が上がります。緑の一本線は、新入団員が初めて袖を通す一般幹部の胴着の章(しるし)。我々「松陵応援団員の出発点」でした。

半纏(はんてん)型とした理由は、現役時代の羽織の意匠を想起するためです。背中の校章には、校歌の歌詞より「象る(かたどる)姿||真・善・美」の文字を配し松陵生としてのあるべき姿を示す。また、校章の中央から放つ三本の光を法



被の全体に施し、母校の昇々の躍進と同窓生間の交流拡大を期す。背面に大きく白抜き文字で記した後輩達へのメッセージは、二十五周年記念の横断幕にある「杜の都の覇者となれ!!」の詞(ことば)。「母校創立三十周年、緑松会十周年」という、この記念すべき節目の年に、世代を越えて集い、各代の思い出やこれからの語り、校歌・応援歌を声高らかに歌い盛大に祝したいと願いました。「原点回帰」への一念。まさに我々卒業生の人生の原点は泉松陵高校にあり、泉松陵高校応援団は誇りです。学び舎で過ごしたかけがえない時間は、生涯決して果てることのない「こころの財産」となっております。校歌に「映す三年の憧憬(あこがれ)」「いざかざせ誇りの校章(しるし)」とありますが、同窓生の母校に対する変わらぬ思いを込めたこの記念品が、更なる母校の発展、OB応援、同窓会活動の一助になれば幸いです。末筆になりましたが、恩師の先生方、学友、そして、母校の先生方、後輩の皆様様の益々の隆盛を心より祈念致します。



「頑張れ松陵！」松陵高応援団よ永遠なれ!
(二〇一〇・七吉日
北海道旭川にて)

ブリッジ

後輩たちへ

平成18年度卒 米田 敬宏

松陵祭当日に書いています。みんなパフォーマンス大会や模擬店と浮足立っていますが、高校生活も二年生を過ぎると、そろそろ大学進学について考え始める頃でしょう。将来やりたいことやなりたい職業、夢で第一志望を決めるとするのはいいことです。進学先がたとえ第一志望校ではなかったとしても何の問題もないと思います。

高校生当時、私は現在通う東北学院大学英文科ではなく、別の国公立大学を志望していました。先生方には小論文の添削や模擬面接と、とても熱心に指導していただいたのですが残念ながら力及ばず、結果的に進路変更という結果となってしまいました。私が、私は現在まったく後悔していません。

当時の第一志望校へは今思えば志望した理由が曖昧だったように感じます。その大学には英文科はありませんが英語教育に力を入れている学校だったので、志望校を考え直す際に自然と英文科が候補に浮かびました。元から英語が好きで得意科目であったこともあり、学院英文科に進路を定め一般受験で入学し現在に至ります。当時、担任の先生から「英文科は滑り止めにはならない」と言われ、第一志望校と同様、必死になつて(いなか)ったかもしれない(受)験

勉強をしました。最初から英文を指したわけではないですが、それ以前に国立大の過去問を解きまくっていたことが功を奏したのだと感じます。受験を控える三年生、進路が決まってきた二年生には、ぜひ第一志望校に入学してほしいと思います。設定した目標よりも高い次元の努力をすればきっと大丈夫です!

なぜ進学するのかわからない、やりたいことが見つからない人も多いと思いますが、それが普通です。私も第一志望ではない大学に英語が好きだからという理由だけで入学しましたが、今ではこうして教師を志した状況で何ができるか、何がしたいかを見つけていくことが人生に於いて大切なことだと考えています。

松陵生のみならずには、どんな状況でもその時々で出来る最高の努力をし新しい道を切り拓いていける力があると信じています。

教育実習を終えて

平成19年度卒 相澤 佑典

私は高校時代が人生の大きな転機でした。中学生までの私はこれといって熱心に取り組んだものがなく、ごくごく平凡な学校生活を送っていました。しかし泉松陵高校に入学してからは弓道部の部長になり、学習面においても最初の試験で良い成績をとれたことを糧に高校生活は文武両

道を為すことができました。このように充実した三年間を過ごすことができたことは、多くの先生方の支えがあったことが大きいと思います。私は中学生の時から何となく教師という職に興味を持っていましたが、先生方の支えに気付いた時、私自身も生徒を支えてみたいという気持ち芽生え、この頃から本格的に教師を志すようになりました。今回の教育実習では四週間という限られた期間の中で、これまで生徒としての視点からしか見られなかった学校を、今度は教師の視点から見ることで、学校の実態をできる限り理解することをテーマに掲げ、実習に望みま

した。そのため実習中は、先生方や生徒とコミュニケーションを積極的にとることを心掛けました。その甲斐もあって授業中・部活動・放課後など、生徒の多くの側面をこの実習期間では見ることができたと思います。そして、泉松陵高校の先生方との関わりの中で特に重要であると思ったことは、教師が生徒との信頼関係をしっかりと築いていることです。言いかえれば「この先生について行こう」と生徒が思えるような指導を行えているということ。ここでの指導とは生徒指導だけでなく、教科指導や進路指導など生徒に関わる全ての指導を意味します。短い実習期間の中で、これらの指導に教師は愛情や情熱を持って取り組まなければ務まる職業でないと思えました。

私の大学入試を振り返っても、推薦入試から一般入試まで小論文指導や面接指導などで休日まで学校にいらっ

には愛情が感じられ、今でも感謝しています。私もこのように生徒と良い信頼関係を築いていくことのできる教師を目指し、教師になるために日々精進していこうと思います。

平成二十一年度

教職員人事異動

〔転出者〕

- 村松 茂 《数学》ご退職
- 氏家 政一 《理科》ご退職
- 高橋 康彦 《英語》松島高へ
- 吉田 信哉 《国語》

- 根本 光泰 《数学》富谷高へ
- 千葉 秀悦 《副参事兼事務室長》ご退職
- 亀山 政博 《主幹》川崎町立碓石小へ

- 吉野 康夫 《主任技師》ご退職
- 〔常勤・非常勤講師〕
- 宮本 歩実 《数学》

- 伊東 俊英 《数学》富谷高より
- 太田 康彦 《理科》河南高より
- 遠藤 英樹 《英語》

- 佐々木 真 《国語》
- 鹿島台商高より
- 村山 明 《数学》

- 宮城農高より
- 佐々木元廣 《事務室長》
- 名取高より

- 堀内 正巳 《主幹》
- 松島自然の家
- 大泉 貢 《技師》

同窓会 10の1年の活動

- 10・2・7 第4回役員会
- 3・1 第27回卒業式
- 5・16 第1回役員会
- 6・12 第2回役員会
- 7・17 第3回役員会
- 7月中旬 同窓会報第二十七号 発行・発送
- 8・7 第二十七回総会・懇親会(ホテル白萩)

泉松陵高校HP内に 同窓会情報があります

同窓会員からのお知らせ

皆様の中で事業を立ち上げていらっしゃる方、芸能活動をしている方、お店を営んでいる方など居りましたら、返信用葉書にてお知らせ下さい。総会の場で、紹介するコーナー等を設ける予定です。

同窓会事務局からのお知らせ!!

年会費二、〇〇〇円の 納入にご協力を!!

『同窓会報』の全員配布や同窓会活動全般の活性化のためには皆様からの年会費が欠かせません。皆様から頂いたお金は後輩たちのため、我々のつながりを維持し発展させるために大切に使用しております。同封の振込み用紙を利用し、出来るだけ年内中に振込みをお願いいたします。

平成21年度 宮城県泉松陵高等学校同窓会会計決算書

収入総額 2,205,791円
 支出総額 1,957,370円
 差引残額 248,421円

収入の部

(単位 円)

科目	予算額	決算額	増減	備考
会費	1,003,200	986,000	△17,200	@400×延2,465名(準会員分)
入会金	276,000	274,000	△2,000	@1,000×274名
年会費	711,800	684,200	△27,600	在校生(3年生)@1,000×延538名 同窓生74名
繰越金	259,191	259,191	0	
雑収入	10,000	2,400	△7,600	過年度会費等
合計	2,260,191	2,205,791	△54,400	

支出の部

科目	予算額	決算額	増減	備考
1 運営費	220,000	158,993	△61,007	
会議費	80,000	85,752	5,752	総会費用・役員会時茶菓
旅費	35,000	31,000	△4,000	監査・役員会旅費
慶弔費	30,000	1,491	△28,509	弔電代
需用費	55,000	31,500	△23,500	横断幕
通信費	20,000	9,250	△10,750	役員会案内状送付用ハガキ
2 事業費	2,010,000	1,798,377	△211,623	
報償費	160,000	131,896	△28,104	卒業証書用ホルダー代
会報発行費	1,350,000	1,166,481	△183,519	会報26号印刷・発送・名簿 メンテナンス料
積立金	500,000	500,000	0	積立
3 予備費	30,191	0	△30,191	
合計	2,260,191	1,957,370	△302,821	

収支帳簿並びに証書類を監査の結果、いずれも正確に処理されておりその内容は適正なるものと認めます。

平成22年 6月12日

監事 伊藤 治子
 監事 守谷美智子

積立金

H21. 3. 31現在	預金利子	H21年度積立額	H22. 3. 31現在 積立額
7,132,142	14,650	500,000	7,646,792

平成22年度 宮城県泉松陵高等学校同窓会会計予算書 (案)

収入の部 2,221,621円
 支出の部 2,221,621円

収入の部

(単位 円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備考
会費	999,600	1,003,200	△3,600	@1,200×833名
入会金	279,000	276,000	3,000	@1,000×279名
年会費	689,600	711,800	△22,200	在校生 @2,000×279名 同窓生 @1,880×70名
繰越金	248,421	259,191	△10,770	
雑収入	5,000	10,000	△5,000	過年度会費等
合計	2,221,621	2,260,191	△38,570	

支出の部

科目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備考
1 運営費	230,000	220,000	10,000	
会議費	120,000	80,000	40,000	総会費用・役員会時茶菓代
旅費	35,000	35,000	0	監査・役員会旅費
慶弔費	25,000	30,000	△5,000	弔意
需用費	30,000	55,000	△25,000	会務用消耗品
通信費	20,000	20,000	0	役員会案内状送付用ハガキ・ 切手
2 事業費	1,960,000	2,010,000	△50,000	
報償費	160,000	160,000	0	卒業証書用ホルダー
会報発行費	1,300,000	1,350,000	△50,000	会報27号印刷・郵送料・ 名簿メンテナンス料
積立金	500,000	500,000	0	記念事業積立
3 予備費	31,621	30,191	1,430	
合計	2,221,621	2,260,191	△38,570	

卒業生の進路状況

◎平成21年度卒業生（平成22年3月卒業・27回生）進路状況

	卒業生 人数	進 学				就 職		受験準備 その他
		大学(国公立)	短大(国公立)	看護医療	専門学校	一般企業	公務員	
男子	122	84 (2)	0	0	16	2	1	19
女子	151	86 (4)	13 (1)	5	26	17	0	4
計	273	170 (6)	13 (1)	5	42	19	1	23

◎大学合格者 延べ数 大学はアイウエオ順

国公立大合格者

大 学	学 部	学 科	合格数
長崎県立大	経 済	流 通 ・ 経 営	1
宮城教育大	教 育	初 等 教 育	1
宮 城 大	事 業 構 想	看 護	1
		デ ザ イン 情 報	2
		環 境 シ ス テ ム	1
山 形 大	人 文	法 経 政 策	1

県内私大合格者

大 学	学 部	学 科	合格数
石 卷 専 修 大	経 営 理 工	経 営	2
		機 械 工	1
		情 報 電 子 工	1
		生 物 生 産 工	4
		生 活 環 境	4
尚 綱 学 院 大	総 合 人 間	現 代 社 会	4
		子 ど も	1
		生 活 環 境	3
		人 間 心 理	1
		表 現 文 化	6
仙 台 白 百 合 女 子 大	人 間	健 康 栄 養	3
		国 際 教 養	9
		総 合 福 祉	9
		人 間 発 達	9
仙 台 大	体 育	運 動 栄 養	5
		健 康 福 祉	2
		ス ポ ー ツ 情 報 マ ス メ デ ィ ア	1
東 北 学 院 大	法	法 律	2
		英 文	7
		歴 史	1
	工	環 境 建 設 工	8
		機 械 知 能 工	4
		電 気 情 報 工	6
		電 子 工	3
	経 営	経 営	5
	経 済	共 生 社 会 経 済	11
		経 済	8
	教 養	言 語 文 化	1
		情 報 科 学	4
		地 域 構 想	1
人 間 科 学		1	
環 境 情 報 工		4	
東 北 工 業 大	工	建 設 シ ス テ ム 工	1
		建 築	2
		情 報 通 信 工	3
		知 能 エ レ ク ト ロ ニ ッ ク ス	4
		ク リ エ イ テ ィ ブ	4
	ラ イ フ デ ザ イン	安 全 安 心 生 活 デ ザ イン	5
		経 営 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	3

大 学	学 部	学 科	合格数
東 北 生 活 文 化 大	家 政	家 政	1
		生 活 美 術	1
東 北 福 祉 大	健 康 科 学	医 療 経 営 管 理	2
		リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	1
	総 合 福 祉	社 会 福 祉	3
		総 合 マ ネ ジ メ ン ト	4
東 北 文 化 学 園 大	医 療 福 祉	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	3
		保 健 福 祉	3
	科 学 技 術	知 能 情 報 シ ス テ ム	2
		人 間 環 境 デ ザ イン	1
	総 合 政 策	総 合 政 策	3
		薬	1
東 北 薬 科 大	薬	1	
宮 城 学 院 女 子 大	学 芸	英 文	4
		国 際 文 化	5
		食 品 栄 養	2
		心 理 行 動 科 学	2
		生 活 文 化 デ ザ イン	4
		人 間 文 化	4
		発 達 臨 床	2

県外私大合格者

大 学	学 部	学 科	合格数
奥 羽 大	薬 学	薬 学	2
嘉 悦 大	経 営 経 済	経 営 経 済	1
神 奈 川 大	経 営	国 際 経 営	1
関 東 学 院 大	法	法 律	1
金 城 大	社 会 福 祉	社 会 福 祉	1
国 際 医 療 福 祉 大	薬	薬	1
創 価 大	文	人 間	1
帝 京 科 学 大	こ ど も	こ ど も	1
東 海 大	情 報 理 工	コ ン プ ュ ー タ 応 用	1
東 京 国 際 大	人 間 社 会	福 祉 心 理	1
東 北 芸 術 工 科 大	芸 術	歴 史 遺 産	1
東 洋 大	文	日 本 文 学 文 化	1
白 鷗 大	教 育	発 達 科 学	1
麗 澤 大	外 国 語	英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	1

短大合格者

短 大	学 科	合格数
秋 田 公 立 美 術 工 芸 短 大	産 業 デ ザ イン	1
聖 和 学 園 短 大	キ ャ リ ア 開 発 総 合	4
仙 台 青 葉 学 院 短 大	看 護	2
東 北 生 活 文 化 短 大	生 活 文 化	1
淑 徳 短 大	こ ど も	1
聖 徳 大 短 大 部	保 育	1
帝 京 平 成 看 護 短 大	看 護	1
東 京 家 政 大 短 大 部	生 活 文 化	1

看護医療系合格者（延べ数）

学 校 名	合格数
亀 田 医 療 看 護 専 門 学 校	2
鹿 児 島 中 央 看 護 専 門 学 校	1
仙 台 医 療 セ ン タ ー 看 護 助 産 学 校	2
仙 台 徳 洲 会 看 護 専 門 学 校	1
相 馬 看 護 専 門 学 校	1
東 京 医 科 大 看 護 専 門 学 校	1
日 本 医 科 学 看 護 学 校	1
宮 城 高 等 歯 科 衛 生 士 学 院	1

就職・公務員（実数）

事 業 所	合格数	事 業 所	合格数
東 日 本 旅 客 鉄 道 (株)	女 2	医 療 法 人 社 団 お く や ま ク リ ニ ッ ク	女 1
(株) M s (エ ム ズ)	女 1	(株) 三 越 仙 台 店	女 2
(株) フ ジ ・ コ ー ポ レ ー シ ョ ン	女 1	ホ ン ダ カ ー ス 仙 台 北 小 松 島 ホ ン ダ	女 1
(株) モ ス フ ー ド サ ー ビ ス 北 日 本	女 1	タ ケ イ 産 業 (株)	女 1
コ ス モ シ ス テ ム (株)	男 1	(株) 仙 台 テ ク ニ カ ル セ ン タ ー	女 1
B B コ ー ル (株)	女 1	ト ヨ タ エ ル ア ン ド エ フ 宮 城 (株)	女 1
松 島 国 際 観 光 (株) ホ テ ル 大 観 荘	女 1	A m e r i k a y a イ オ ン 富 谷 店	女 1
サ ン 移 動 通 信 サ ー ビ ス (株) a u シ ョ ッ プ 六 丁 の 目 店	女 1	高 橋 歯 科 医 院	女 1
(株) 細 胞 科 学 研 究 所	男 1	東 京 消 防 庁	男 1

今春の進路状況



進路指導部長 遠藤 昭一

進学

平成二十二年三月卒業生二七三名の内、大学進学者は四年制大学一七〇名、短大進学一三名の計一八三名で、進学率は六七%だった。なお、そのうち国公立大の進学者は短大も含めて七名だった。

さて、本校は数年来進学率の向上を目指して努力を重ね、過去三カ年は大学進学者が二百名を突破して、国公立大にも毎年一〇名以上は合格進学率も七五%を維持してきた。それと比較すると今春は残念な結果だったと言わざるを得ない。クラス数が八から七に減って、入学してくる生徒層に変化が見られるとは言え、実力不足の感は否めなかった。また、志望校の読み違いや家庭の経済状況の変化も進学率低下の一因として考えられる。今年も厳しい状況には変わりないが、進路指導部では低学年からの動機付けをはかり、一般受験に耐えうる学力を養成して巻き返しをはかりたいと思っている。

専門学校・各種学校

専門・各種学校に進学した生徒のうち看護系は五名で横ばいだったが、それ以外は微増している。専各学校は大学不合格者の受け皿にもなっているが、目標資格の明確な看護系、理美容系、工業系などの一部の学校を除いて、安易な学校選びはしないように生徒に指導している。

公務員・就職

世界同時不況の影響下、高卒者の就職は不振を極めた。本校生は解禁直後には、東日本旅客に二名合格するなど、幸先よいスタートを切ったものの、その後の合格はびったり止

まった。しかし、県の就職支援金制度などが功を奏したのか、年明けから求人状況がやや好転し、最終的には公務員(東京消防庁)一名を含む二十名が合格、内定率も全県を上回る九五%に達したのは幸いだった。

高総体、その他の大会結果

Table of sports results including basketball, volleyball, badminton, tennis, and swimming. Columns include event name, opponent, score, and participants.